

主要指標の見通し

1 人口の推移

この人口推計の基となった平成12年国勢調査における4市町村合計人口は100,016人で、新市が発足する平成17年には102,210人まで増加するものと見込まれます。その後も人口の増加は続き、平成37年の107,359人をピークに緩やかに減少するものと予測されます。

年齢階層別の人口推計では、年少人口（0～14歳）は平成12年の16,000人、構成比率16.0%が、30年後の平成42年には13,498人、構成比率12.6%まで減少すると見込まれます。

一方で、老年人口（65歳以上）は平成12年の22,573人、構成比率22.6%が、30年後の平成42年には32,603人、構成比率30.4%まで増加することが見込まれ、少子・高齢化が進行するものと予測されます。

また、少子化の影響により生産年齢人口（15～64歳）についても、平成22年の62,881人をピークに緩やかに減少するものと見込まれます。

新市人口推計

(単位:人)

	年齢区分	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)
新市の人口	総数	100,016	102,210	104,224	105,877	106,788	107,359	107,336
	0～14歳	16,000	15,597	15,370	14,907	14,280	13,873	13,498
	15～64歳	61,443	62,491	62,881	62,434	61,993	61,809	61,235
	65歳以上	22,573	24,122	25,973	28,536	30,515	31,677	32,603
構成比率	0～14歳	16.0%	15.3%	14.7%	14.1%	13.4%	12.9%	12.6%
	15～64歳	61.4%	61.1%	60.3%	59.0%	58.1%	57.6%	57.0%
	65歳以上	22.6%	23.6%	24.9%	27.0%	28.6%	29.5%	30.4%

